

## タカラダニ類

分類 ダニ目タカラダニ科

学名 Erythraeidae

英名 —



写真出展元：公益社団法人 日本ペストコントロール協会

### ■解説<sup>1) 2) 3)</sup>

タカラダニは前気門亜目のタカラダニ上科 (Erythraeoidae) のタカラダニ科 (Erythraeidae) とナガタカラダニ科 (Smarididae) のダニの総称である。タカラダニ類は、日本では4属13種が報告されている。体は簿毛で覆われ、腹面の毛は特に密で、繊細である。生活史は不明な点が多い。卵、幼虫、若虫を経て成虫になるが、若虫は第1、2、3期があり、第1、3期は静止期である。幼虫はセミ、アブラムシ、バッタ、カミキリムシ、ガ、アブ、ハバチ、クモ、ザトウムシなど多くの陸生の節足動物の体表面に寄生し、体液を吸って栄養を摂る。成虫および若虫は、微小生物を捕食する捕食性と考えられていたが、花粉や胞子も食す菜食性とも提唱されている。カベアナタカラダニ (*Balaustium murorum*) は、年1世代で、春先幼虫が孵化し、5~6月に成虫となり、盛夏までに産卵して親虫は死滅し、卵で越冬する。

[カベアナタカラダニ]

### ■体長

卵	: —
幼虫	: 約 0.5mm <sup>2)</sup>
若虫	: —
成虫	: 1.0 mm程度 <sup>2)</sup>

### 【参考文献】

- 1) 芝実 : 生活と環境 p. 39, Vol. 34, No. 5, 1989
- 2) 佐藤仁彦 編: 生活害虫の事典, p. 226, 株式会社朝倉書店 (2003)
- 3) 松崎沙和子, 武衛和雄: 都市害虫百科, p. 189, 朝倉書店 (1993)